

[投稿前の点検リスト]

公益社団法人日本心理学会「執筆投稿の手引」第3章 公益社団法人日本心理学会倫理規程をよく読んで、以下の項目について点検して下さい。

点検した項目については、□に✓を付けて、論文と一緒に提出して下さい。

- 投稿原稿の分量は、図・表・文献を含めて規定内か。
- 論文タイトルの内容と長さ（35文字以内）は妥当か。
- 論文中の引用文献をすべて文献リストに挙げているか。
- 引用文献や文献リストの書き方は正しいか。
- 英文について、ネイティブスピーカーあるいは英語の専門家によるチェックを受けた場合、英文校正証明書等を添付しているか。
- 本誌や他誌に類似内容の論文を投稿（二重投稿や多重投稿）していないか。
- 本誌で審査中に関連のある論文を筆頭著者として本誌に投稿（並行投稿）していないか。
- 論文中や要約の記載において、プライバシー保護を適切に処置しているか。
- プライバシー保護の処置が、事例や調査等の重要な事実関係の捏造・改ざんになっていないか。
- 事例研究の投稿では、クライアント、ならびに保護者や関係機関から必要な同意を得、その旨を本文中に記載しているか。
- 倫理委員会等のある機関・施設では、投稿に必要な承認を得ているか。
- Web公開にあたり、プライバシー保護を適切に処置しているか。
- 論文には英文と和文の要約が付けられているか。
- 投稿論文として、正原稿と副原稿を用意しているか。
- 副原稿では、投稿者名・所属・謝辞を削除しているか。
- 正原稿と副原稿、それぞれワードとPDFの2種類のファイルを用意しているか。

以上の項目について、点検・確認を済ませました。

年 月 日

筆頭著者名（自署）

（本点検リストを投稿論文に同封して下さい。）

倫理審査必要可能性チェックシート

以下の項目について、にチェックしてください。一つでもがつけられない場合は、倫理審査を受ける必要がある場合があります。

●研究の安全性について

- あなた自身に、心理的・身体的に何らかの危険または不利益が予想されない。
- 研究対象者（研究参加者）に日常生活で一般的に体験しうる範囲を超える心理的負担や身体的な危害を及ぼす可能性はない。
- 研究対象者に日常生活で起こりうる範囲を超える身体的な痛みを与える、または我慢や不便を強いるものではない。

●インフォームド・コンセントについて

- 研究対象者本人からインフォームド・コンセントおよび研究参加への同意を得ることができる。
- 未成年者（18歳未満）を対象とするものではない、または未成年者本人および保護者から参加への同意を得ることができる。
- 病院への入院者、支援施設の入所者や利用者など日常生活の維持において他者の支援を受けている人を対象にする場合、主治医および家族など主要な支援者の理解と協力を得られている。
- この研究に活用することへの明確な同意なしに収集された情報を利用するものではない（法律に基づいて実施された調査のデータや、既に連結不可能で匿名化された情報の場合は除く）。

●個人情報の保護について

- 個人の本質や尊厳、プライバシーに関わる情報は扱っていない、または当該研究の情報で個人が特定されることはない。

虚偽の研究方法の活用について

- 研究目的等の虚偽の説明を用いる研究方法を採用するなど、一時的であれ研究対象者をだますものではない

●利益相反等について

- 研究対象者との間に利益相反となる可能性はない（例えば、研究対象者の指導者・同僚・雇用主、または親族等ではある場合や研究対象者との間に何らかの力関係や血縁関係がある場合は利益相反となる可能性があります。）
- 研究対象者以外の関係者（研究対象者の家族・遺族、研究成果の読者、関連団体等）との間に明らかな利益相反が起こりえない。利益相反があり得る場合は誌面上で申告していること。

●審査要請の有無について

- 所属する研究機関や団体、事業所、または研究資金の提供元などにおいて何らかの研究倫理審査を受けることを求められていない。

年 月 日

筆頭著者名（自署）